

区老連だより

灘区老連

初詣日帰りバス旅行

〔今年の恵方は
(東北東) 滋賀方面〕

この日は例年に比べて1月と思えない位の暖かい日で、参加者は77名バス2台、豊中インターチェンジで合流し大津市の天智天皇を祀る近江神宮へ向かいました。バスを降りますと、50段位の階段があり、その上に立派な赤い神社、77名が順に参拝しました。

次に向かった先は、日本武尊を祀る近江国一之宮建部大社に着き神社の前、2班に分かれて記念写真を撮りました。それぞれ参拝を済ませてバスは石山寺付近の昼食の場所「洗心寮」に到着、クラブごとのテーブルに着き、灘区老連小谷会長の挨拶の後、山口副会長の乾杯の発声で近江のお料理をいただきました。その後は野洲市方面に向かう途中、バスの車窓から見える、比良山の山並みは、積もった雪で最高にきれいでした。



2班に分かれて記念写真

しばらくすると、大己貴命を御祭神とする、兵主大社に着きました。参拝を済ませて、かねふくめんたいパークびわ湖に着きました。明太子をお土産に買い、その後バスは名神高速道路から阪神高速道路へ、そして灘の街に入りました。この日は大変良い天気恵まれて、三社参りが終了しました。バスの運転手さん、旅行社の添乗員さんありがとうございました。

須磨区老連

室内運動会

5種目にチャレンジ

新しいモデル事業として、平成29年に「認知症予防と会員増強を図る」をスローガンに新しい事を考えるようにスポーツ部に指示があり、当時の部長と副部長が相談して試行錯誤。年齢と体力等に関係なくまた、競技種目の選択肢を多くして誰でも参加できるように考え、また、限られた予算内での競技用具等の準備に苦勞しつつスタートしました。

- ①玉入れ ②ビー玉移し
- ③スプーンリレー ④缶積み高さ競争
- ⑤輪投げ ⑥スポーツ吹き矢 ⑦パン喰い競争

これらの競技は体育館を利用し、雨天や寒暖などに関係なく出来るので、室内運動会として、予選を数回に分けて行い、決勝大会を行っています。競技種目も開催後に見直しをし、「スポーツ吹き矢」は競技時間がかかり過ぎることと「吹き矢」の衛生面を考慮して第2回目以降は取り止め、また、コロナの流行後は「玉入れ」を「玉投げ」に変更、「パン喰い競争」を取り止める等工夫をしながら、現在は次の5種目で毎年実施しています。

- ①玉投げ：1チーム6人で1人10個のお手玉を的に向かって投げて的の皿に入った数で点数を数える。(的までの距離は2.5mと3.0mとする)
- ②ビー玉移し：1チーム3人とし、30秒交代でビー玉を右の容器から
- ③スプーンリレー：1チーム6人とし、スプーンにピンポン玉を乗せて5m先のコーンを折り返してリレー形式でタイムを測定する。
- ④缶積み高さ競争：1チーム3人とし、交代で一定時間内(2分間)に2m先の場所に積み上げる。最終積み上がった缶詰の高さを測定。(缶詰は1回に1個積み上げることが出来る)
- ⑤輪投げ：1チーム3人



とし、個人種目として1人3ゲームの得点で順位を決める。令和6年度で8回目の大会となりますが、毎回好評で参加者も多く人気の大会になっています。

垂水区老連

たるみっこまつりに参加して



5月11日(土) 10時から県立舞子公園で恒例の「たるみっこまつり」が開催された。

明石海峡大橋1A(神戸方アンカレイジ)東側の芝生広場に特設ステージが設けられ、垂水区にゆかりの団体が日頃の練習の成果を発揮し、順次演技を披露していた。(37団体がエントリー)

その東側には、「おまつり市」「たるみっこマルシェ」が展開しており、さらにその東側の緑地に、「はたらく車」の展示が行われていた。消

防車・パトカー・白バイ。パッカー車など。中でも白バイには子どもを乗せてカメラに収めるための行列が続いていた。垂水区老連は、コロナ禍の3年を除き、長年のイベントに協賛し参加している。今年も「おまつり市」に22団体と共に出展。隣の「たるみっこマルシェ」には14団体が出展していた。

4月の理事会で松木会長の「家にある不用品で子どもが喜ぶようなものを提供願う」の呼掛けに応じ、ぬいぐるみ・帽子・グラス・CD・雨靴・運動靴等や、この日のために会員によって手作りされた、竹とんぼ・ぶんぶんゴマ・ボトルシップ・額装された絵画などを店頭に並べた。特設ステージで演技の終わった児童や、家族連れが続々と来店、女性委員会メンバーの呼掛けで、品物がどんどん減っていく。



たくさんの方にご購入いただきました